

平成 30 年度筑紫野市まち・ひと・しごと創生推進委員会 会議録

期 日 平成 30 年 9 月 20 日（木）

時 間 14:00～15:20

場 所 筑紫野市役所 第 1 別館 2 階 第 5 会議室

出席委員 矢ヶ部委員、上村委員、安恒委員、山元委員、中川委員、神崎委員、吉村委員、
力久委員（名簿掲載順） 以上 8 人

欠席委員 西田委員、倉掛委員、井上委員、鬼木委員 以上 4 人

事務局 企画政策部 宗貞企画政策部長
企画政策課 中尾企画政策課長、城塚企画政策担当係長、力武企画政策担当主任、
寺崎企画政策担当主任 以上 5 人

傍聴人 1 人

【会議概要】

1. 開会

事務局の司会により開会

2. 部長あいさつ

宗貞企画政策部長よりあいさつ

3. 議事

（1）筑紫野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗について

事務局から次のとおり説明を行った

- ・総合戦略の進捗状況の評価のため、平成 29 年度末時点における基本目標の成果指標や重要業績評価指標（KPI）の達成状況について確認を行った。
- ・その結果、基本目標の成果は向上しており、目標年次である平成 31 年度に向けて順調に推移しているといえるが、それ以外の重要業績評価指標では平成 28 年度からの成果向上に至らなかった。
- ・指標値が下降した KPI に関連する事務事業については、目標達成に向けた新たな取組を実施しているところ。
- ・本日の会議では、市の評価結果を踏まえ、まち・ひと・しごと創生の実現に向けた、今後の取組のためのご意見や提案をいただきたい。

- 委員 待機児童の減少のための今後の取組は。
- 事務局 企業主導型保育事業による児童の受入増や、公立保育所保育士の報酬等の増額や市内認可保育所合同就職説明会の開催による保育士の確保を図りたい。
- 委員 企業主導型保育事業については、マッチングに課題があり欠員が多く発生しているという記事が先日の新聞に掲載されていたが、市では事業の実施にあたり、どの地域に待機児童が多いか等の分析を行ったのか。
- 事務局 地域別の分析は特段実施していないが、市内で実施する3箇所の企業主導型保育事業については、特定の地域に偏らず、分散できているものと考えている。
- 委員 筑紫野市の人口の推移が微増である状況から市の幼児の人数は減少傾向であると推察されるが、私は、今後の幼児教育の無償化により、保育所への申し込み数は増加していくものと考えている。そのとき、市としては定員増加のためのハコモノの増改築の取組と、保育士確保の取組のどちらを重点的に取り組む考えか。
- 事務局 定員増加のための認可保育所の増改築についてはこれまでも実施しており、これからも両方の側面から取り組んでいきたい。
- 委員 農業に関するKPIの向上のために取り組む事業のメニューの一つに、耕作放棄地を復旧し、新規就農者への貸付を誘導するものがあるが、耕作放棄地の復旧はなかなか簡単にはいかない。排水が悪い、水がかからない等、耕作放棄地となった理由も様々であるし、復旧する場合も周囲が宅地であり一体的な耕作が出来ない等、農地によって状況が異なるためだ。耕作放棄地の増加とその解消への取組が課題となる中、農業委員会では、適正な耕作面積の把握のため、山林等、既に非農地化している耕作放棄地の調査を進めていると聞く。耕作放棄地の非農地化と復旧とで方向性は異なるが、市と市農委とで耕作放棄地の解消に向けた取組をしっかりと進めていただきたい。
- 事務局 本事業は復旧した耕作放棄地を新規就農者とマッチングすることが重要な点であることから、貴重なご意見として賜り、適切に事業を実施することとしたい。
- 委員 様々なKPIがある中、例えば「スポーツをする機会が充分だと思う市民の割合」については、どのようにして指標値を算出しているのか。
- 事務局 ご指摘のKPIについては、18歳以上の市民から無作為に抽出した3,000人を対象としたアンケートを実施し、その結果から算出している。全てがアンケートからの算出ではなく、KPIによっては、業務での取得や他の調査等のデータを活用し指標値を算出しているものもある。

- 委員 この KPI に関係する主な事務事業として筑紫野市立小学校体育施設一般開放事業がある。この事業は、市内小学校 11 校の体育館及び運動場について、毎週土曜日の午前 9 時から 12 時まで市民の利用に開放するものであり、予約は不要である。しかし、予約が不要という点や、事業の存在自体が市民に十分に周知されていないため、スポーツをする場所の選択肢に入らなかったり、特定の団体が施設を予約して使用し他の団体は使用できないと認識している人を多くみかける。この KPI の指標値は、基準値より下降しているもののその値は 90%と高く、更なる PR によって目標を達成できるものとする。
- 事務局 本事業については市公式 HP に情報を掲載しているものの、ご指摘のとおり適切な周知方法を検討していきたい。
- 委員 商工会の会員数や開業事業所数等、地域産業の競争力強化に係る KPI の指標値の向上に寄与する事業の中で中心市街地という文言が使用されているが、ここでいう中心市街地の位置はどこか。
- 事務局 西鉄二日市駅や JR 二日市駅の周辺の区域である。
- 委員 KPI「消防団員数」の指標値について、目標値の 341 人は定員か。
- 事務局 ご指摘のとおり、条例上の定数である。
- 委員 地域コミュニティ活動の活発化に伴い、今年度から消防団組織が従来の 5 分団から 8 分団に見直されたが、見直した初年度ということもあり、特定の地域への団員の偏りが発生していると聞く。今後、数値上は目標値を達成したとしても、地域毎の団員の割合に偏りがあるままでは分団の運営に支障をきたす可能性があるため、その点を注視していただきたい。
- 委員 関連して、筑紫野市では行政区毎に自主防災組織を組織し、地域の避難訓練や危険箇所の把握、避難が難しい人への支援等を行っているが、地域コミュニティ活動の活発化に伴い、地域によってはコミュニティ運営協議会と行政区とで災害時に実施すべき活動が重複している部分がある。今後に向けて、市や各地域コミュニティ、各行政区それぞれの役割や情報の流れを整理することが必要であるとする。
- 事務局 両意見とも貴重なご意見として賜り、目標達成に向けた取組の検討に活かしたい。
- 会長 筑紫野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況については適切に評価されていたと言える。本日の会議で挙げた意見については、各所管課と適宜情報の共有を行い、平成 31 年度での目標達成に向けて、さらに検討を深めていただきたい。

4. 事務連絡

謝金の支払いについて、事務局より説明

5. 閉会

15時20分閉会

以上